

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード		5-3-1	事業名		大通交流拠点再整備構想検討事業
担当		市民まちづくり局都市計画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課 湊 Tel211-2692			
全体計画					
事業内容	札幌駅前通と大通の交差部は「都心まちづくり計画」において、「大通交流拠点」として、骨格軸と連動して面的な広がりでもちづくりを展開すべき地区として位置づけられており、人びとの多様な交流を支援し、都心内の中心性を象徴的に表現する「サッポロ広場」の形成が求められている。 現在整備を進めている「札幌駅前通地下歩行空間」との連携はもちろんのこと、都心の新たな魅力づくりに向けた空間構成、多様な交流支援機能の確保や地上・地下の空間的連続性の確保など、「サッポロ広場」の形成に向け、関係地権者と連携を図りながら整備検討を進める。		<年度別の事業内容>		
			[19年度]: 広場形成に向けた現状把握と課題整理 (導入機能・空間利用・通行者処理など) 札幌駅前通公共地下歩道との連携 民間開発計画との調整・支援 [20年度]: 広場空間の整備目標設定 (機能移転・導入機能・空間構成など) 民間開発計画との調整・支援 [21年度]: 整備計画案検討及び作成、整備手法の検討 [22年度]: 整備実施計画作成		
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	広場形成に向け、庁内関係部局及び民間地権者と共に、現状把握と課題について、検討を進めた。 具体的には、広場の意味・形状・機能・歩行者対策など、今後の方向性について協議を重ね、札幌駅前通公共地下歩道とのスムーズな接続や民間開発計画と調整を図りながら、整備目標の具体的検討をするための準備を進めた。		今後の整備の方向性検討 大通交流拠点まちづくりガイドラインで示す「サッポロ広場」の実現に向け、動線計画検討や現状の課題整理、今後の整備の方向性について、庁内関係部局間で共通認識を構築した。		
事業内容	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)		
	整備内容、手法の検討 20年度の検討を踏まえ、大通交流拠点に導入すべき機能やしつらえなどについて、具体的な整備の内容、手法等の検討を行う。				
規模					
件数					
等					

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-1			事業名	大通交流拠点再整備構想検討事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
サッポロ広場形成計画の策定	検討	検討	検討	検討	策定	策定	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力] 大通交流拠点まちづくりガイドラインを協働で作成し、その実現に向けた連携体制を取っている。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>都心の中心性を象徴的に表現する「サッポロ広場」の整備の意義や重要性について、関係者内で共通認識を持ち、整備の方向性の検討を行った。</p>			<p>大通交流拠点まちづくりガイドラインに示される「サッポロ広場」の実現に向け、整備の方向性、実現の手法の検討のほか、周辺の民間地権者の支援・調整を通し、「サッポロ広場」が官民の連携により一体的な空間となるよう、検討を進める必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>今後は、札幌駅前通地下歩行空間との連続性の確保や、人の滞留を可能にする都心部の総合的な公共的空間形成などの観点から、利便性・機能性・回遊性の向上を図り、より高質な空間の実現を目指していく。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-1			事業名	大通交流拠点再整備構想検討事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	0	6,000	4,000	10,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	3,000	2,000	5,000				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の財源	0	0	0	0	0				
予算	事業費	0	0	0	-	0				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
	その他の財源	0	0	0		0				
実績	事業費	0	2,993	-	-	2,993				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0			0				
	市の債	0	0			0				
	その他の財源	0	2,993			2,993				
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					29.9%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度]										
[20年度]大通交流拠点の整備の方向性の検討が必要になったことから、都心再生協働事業費(1,493千円)、札幌駅前通地下歩行空間活用推進費(1,500千円)を活用した。										
[21年度]										